

なづかりすくんの ぼうけん

このコーナーでは、さまざま場所をなづかりすくんたちがめぐり、その様子を記録に残すことで皆さまにも、その場所の魅力を伝えてほしいと思い開設しました！
よろしければ、実際にその場所へ行ってみたいはいかがでしょうか？



今日は、運河水辺公園へとやって来ました！
利根運河と隣接している公園のため涼しい風が心地よく、穏やかな雰囲気です。
自然豊かで、運河には魚が泳いでいました！
ぜひ、浮き桟橋からのぞいてみてください！

みんなの おすすめ本

ニックネーム ふじもも の

おすすめ!



いい子じゃないもん

田部 智子／作
岡田 千晶／画
福音館書店

913 タハ

ユウレイ通りのお話で、都ちゃんが、(しっかり物で、やさしい子)で、わがしを、もらったお店のおばあちゃんが、死んでしまうお話です！ちょっと、かなしいシーンもあるけど、すごくおもしろいです！！

おねがい

たべたり、のんだりしながら本を読まないでね！もし本をよごしてしまったり、破いてしまったら、スタッフに教えてください。修理用のテープがあります。ただし場合によっては、弁償してもらうこともあります。



編集後記

「こどもの木+」はいかがでしたか？今回は、環境問題に関する本を中心に集めてみました。この新聞を読んで少しでも自分にできることはないかと考えるきっかけになったら嬉しいです。図書館には、まだまだ環境問題についての本がありますので、よろしければお読みください。



ながれやましりつ きのとしょかん

年2回(夏・冬)発行

こどもの木+ vol. 24

2024 なつ号

テーマ:

プラスチック

プラスチックは、物を入れるためのビニール袋や飲み物を飲むためのストローなど様々な種類があり、私たちの生活を助けてくれます。しかし、同時に多くの問題も抱えているのです…。今回は、そんなプラスチックについての本を集めました。



518

SDGs でかんがえよう地球のごみ問題！
見すごせない！

海洋プラスチック問題

井田 仁康／総合監修
保坂 直紀／指導 童心社

レジ袋やペットボトルなどのプラスチックごみが捨てられた後、どのような道をたどるのか、写真とともにくわしく知ることができます。SDGs の「海の豊かさを守ろう」の目標に向け、世界中の取り組みが紹介されています。地球環境の未来に危機感を持って、自分たちができることを考えるきっかけになる本です。

ハブラシのサミー

海のなかのプラスチック
M・G・レナード／文 青山 南／訳
ダニエル・リエリー／絵 化学同人

ソフィアの黄色いハブラシ【サミー】。
ある日、毛先がグシャグシャになっているのに気づいたお母さんに捨てられ、船で遠くはなれた所へ。果たして、サミーはソフィアに再び会うことができるのか？最後のページは「プラスチックのこまったところ」を紹介。物語を楽しんだ後は、プラスチックの問題についても考えてみよう。



Eリエ

Eハト

ステラとカモメとプラスチック

うみべのおそうじパーティー

ジョージナ・ステーブンス／作
イジー・バートン／絵 いたう のぶこ／訳
岩崎書店

海辺のマンションでくらす5才のステラの小さな友だち、カモメのミューちゃん。毎日遊びに来てくれるのを楽しみにしていたのに、ある日、ぱったり姿を見せなくなりました。それは海辺におちているごみのせい。おそうじパーティーをして海辺をきれいにしよう！と思いついたステラ。この作戦、うまくいかな？



海のプラスチックごみ調べ大事典

保坂 直紀／著 旬報社

プラスチックという素材は便利で、私たちの生活のあらゆるところで使われています。しかし今、プラスチックのゴミが大量に海へと流れ込み、海の生きものたちを苦しめています。この本はプラスチックに焦点を当て海洋汚染について調べることができる本になっています。

519



「山」とともに歩む



ひとがつくったどうぶつの道

Eホリ

キム・ファン／文 堀川 理万子／絵 ほるぷ出版

山に道路ができ人間にとっては便利になりましたが、動物たちの交通事故は増えるばかり。少しでも命を落とす動物が少なくなるように、動物のための道を作りました。おかげで動物たちは車の道を渡らずにすむようになりましたが、それで解決？…考えさせられるお話です。

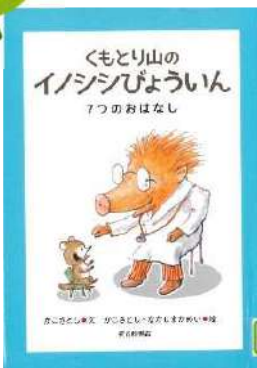
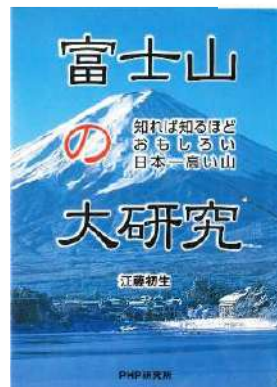
富士山の大研究

45

知れば知るほどおもしろい日本一高い山

江藤 初生／著 PHP 研究所

富士山は大きな一つの山のように見えますが、実は四つの火山でできているそうです。今の美しい円錐形は過去の噴火の繰り返しで形成されているということで、本書はその噴火について記された歴史書や富士山にふれている昔の日記や和歌などが沢山紹介されています。富士山は昔から人々にとって大きな存在だったことがわかります。



くもとり山のイノシシびょういん

913 カコ

7つのおはなし

かこ さとし／文 かこ さとし・なかじま かめい／絵 福音館書店

くもとり山にはもじゃもじゃ頭のイノシシ先生がいました。悩みをかかえた動物たちが毎日、先生の所へやってきます。先生はどんな診察をするのでしょうか？ひとつひとつのお話が短くて読みやすい本になっています。

今回は「山」がテーマの本を集めてみました！山に関する物語だけでなく、富士山や桜島といった日本の山も紹介しています。ぜひ、人と自然や動物たちとの関わりをご覧ください。



きつね森の山男

E/V

馬場 のぼる／著 こぐま社

山男はキツネ軍にであい、山のおしろのとのさまとの戦争に参加させられるところから話は、はじまります。とのさまは大のさむがりで、キツネの毛皮をねらっています。一方山男は戦争するより大根づくりにせいをだしていました。さて、この二人が出会ったら…？最後の展開が面白いです。

桜島の赤い火

453

宮武 健仁／文・写真 福音館書店

鹿児島県にある桜島は毎日、噴火をしている元気な火山です。著者は子どものころに見た火口が赤く光っている絵葉書が忘れられず、桜島だったら赤い火をこの目で見ることはできないかと、撮影を始めます。桜島の姿を撮り続けることにより、火山だけでなくその周りの自然にも火山特有の性質があることに気づいていきます。



じいちゃんの山小屋

913 サワ

佐和 みずえ／作 カシワイ／絵 小峰書店

山奥のじいちゃんの家に来た航太。集落の家ではなく山小屋で暮らすことに。トイレも電気もなく、スマホは圏外。じいちゃんの手伝いでシタケの収穫などをする生活。ある日、ミツバチの番を命じられ、がまんできなくなった航太は逃げ出すが…。人間関係や自然、野生動物との関わり方について考え方が変わるかもしれない1冊。



木のとしょかんは、「ほん+き」でとりくむこどもたちを、おうえんします！

テーマ：戦争

今回は、「戦争」についての本を紹介します。

起きてしまった戦争について理解し、何ができるのかを学ぶための本をご紹介します。



SDGsで見る現代の戦争

319

知って調べて考える 伊勢崎 賢治／監修 関 正雄／SDG s 監修 Gakken (学研プラス)

第二次世界大戦の後に起きた戦争や紛争、現在も続く紛争を知り、争いの原因や状況、問題を解決していくための手がかりなどを、国連が掲げる持続可能な開発目標 (SDGs) 実現とのかかわりとともに説明しています。



ヒロシマのいのちの水

Eノム

指田 和／文 野村 たかあき／絵 文研出版

語り手は、広島で原爆を経験した一人の女性。水を求めながら亡くなった原爆犠牲者のため、慰霊碑に清水をささげる「原爆献水」という行事を始めた方です。戦争の悲惨さ、愚かさを伝えるために一生を費やした物語。